

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区
8日	岡心勇隊奈良中和
9日	岡心勇隊五條橋本(あやの台)
13日	岡心勇隊八幡地区
15日	大教会ひのきしん(道弘)
18日	岡心勇隊大阪地区
21日	大教会ひのきしん(相嘉)
22日	祭典準備ひのきしん
	大教会ひのきしん
	(表野・飛鳥川・岡萩)
22~23日	大教会役員・直属教会長会議
23日	婦人会伏せ込みひのきしん
23日	大教会月次祭
23~26日	婦人会詰所ひのきしん
24日	大教会ひのきしん(東松浦・西北)
25日	詰所ひのきしん日
26日	本部月次祭
30日	岡心勇隊姪浜会場
第一日曜日	おぢば伏せ込み団参(午前中)

▼その他の行事予定▲

3月	2~12日	学生生徒修養会(大学の部)
	5日	大教会春季霊祭
	24日	おつとめ勉強会
	28日	春の学生おぢばがえり
	30日	少年会岡団総会

※新型コロナウイルスの影響から、行事予定が中止、または変更される可能性があります。

教務報

- ◆本部食堂ひのきしん(12月16日~27日)
葉院 清水 豊
- ◆教養掛(2月)
表田 上田 耕平
- ◆修養科第96期修了者(12月27日付)
大和二見 江口 弘美
- ◆別席願(12月16日~1月15日詰所受付分)
松浦郷 玉守 優翔
東志免 高場 彩夏
南阿太 芝田 実菜
南 芳山 和奏

詰所の「縁の下の力持ち」



今光分教会所属
吉原道治さん
睦子さん

私たち夫婦を約7年、大教会で、詰所で暖かく見守り接していただいていた感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございます。私たちにとって、かけがえのない財産、経験となりました。自教会に戻りますが、会長さんを支えながら夫婦勇んで通らせていただきます。7年間、本当にありがとうございました。

岡大教会連絡報

立教一八五五年 二月号(二月二十三日発行)

岡大教会ホームページ



oka.or.jp
発行所 高市郡明日香村岡 395
〒634-0111
天理教岡大教会
電話(0744)54-2002
FAX(0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
185.1.23 / 038

POINT

今月のメッセージ 「不要不急の外出はお控え下さい」



現在、オミクロンの感染者が急激に増えています。その中に迎えた岡大教会の春季大祭でしたが、世話人宮森与一郎先生の初巡教を頂戴して、誠に勇んだ結構な祭典を勤めさせて頂くことができました。それは岡に繋がる大勢の方々が、今月も変わりなく真心を寄せて下さったお陰であります。感謝、感激です。

その一つですが、こういう話を聞きました。ある婦人さんが「現在、大変な状況なので不要不急の外出は是非止めて下さい」と関係者から言われたそうです。それで、大教会の伏せ込みひのきしんに

参加する事を随分迷われました。しかし、「私は大教会の祭典準備をする大切な役目を頂いているのだから、けっして不要不急の外出ではないと思って、感染対策には十分気をつけて参加しました」と言われました。そして、みなさんと一緒に楽しく御用を勤めてくださいました。

一人ひとり状況が異なりますから、それぞれが真剣に思案し、可能な中で真実をお寄せくださいます。ミコソナ禍、は、自分が暮らしの中で「本当に大切にしているものは何か」を考えるいい機会でもあります。(吉田)

TOPIC

大教会布教部(森井道典部長)は昨年12月23日、「布教推進講話」を開催。酢藤忠義先生(眞榊分教会長)を講師に迎え、立教184年納めの月次祭の神殿講話に替えてつとめられた。

テーマは「地域に根差す教会のあり方」。冒頭、酢藤講師は、保護司や青少年指導員、更生保護協会の活動など、自身が務める地域での立場を紹介。自教会の過去の歩みを振り返りながら、「地域の中にありながら、教会の存在が知られていないという事実がある」という現状を述べた。その上で、子供会や町内会、民生児童委員など、地域と関わる務めに積極的に参画する中で、「この地域の天理教といえは酢藤さんや」と言われるようになった。これが大きな転換期だった」と振り返った。

地域に根差す教会のあり方



眞榊分教会長 酢藤忠義先生

その後、社会に出て働いた頃や、東日本大震災の復興支援活動での自身の経験を基に、「自分がその役目の長ならどうするか」を考え、多くの方に共感してもらえるように務める」ことの大切さを強調。里親活動後の自立支援を目的に法人を立ち上げた経験を紹介し、「各教会でもみんな考えて、自分たちだからこそ出来る事柄を思案し、実行していただきたい」と話した。

写真で振り返る一カ月
1月 January

立教185年大教会元旦祭



立教185年の新春を迎えた1月1日、大教会元旦祭がつとめられた。今年の決意を祭文に奏上された大教会長様を芯に、老若男女が一手一つにおつとめ。「ひながたをたどろう！」を心定めに、今年の一步を踏み出した。

樹木の丹精を担う岡の庭師



大教会所属の三重野史士さんは、樹木の丹精を一手に担う庭師。これまでも東松浦分教会や西北分教会へも出向き、庭の整備を実施。昨年から今年にかけては、西大阪分教会や飛鳥川分教会へも赴いた。

年の瀬のお餅つき



2年ぶりに実施された、ご本部へお供えるお餅つき。若人の活気ある掛け声と杵を打ち下ろす音が響いた。ご本部のお節会(せち)は今年も中止となつたものの、賑やかに心を込めたお餅が搗かれた。

バリアフリースイレ改修



現在、「バリアフリースイレ」改修工事を進めている詰所。本館1階男子トイレに設置されていた同トイレを拡張し、ご高齢の方や介助が必要な方に対応した設備を設置。安心しておちば帰りしていただけるよう目指す。

ぜひ、友達登録してください

天理教岡大教会
LINE公式アカウント

様々な情報を配信します。
ぜひ友達登録してください!



新たな一步を踏み出した表時分教会の一同。当日は、「みかぐらうた」を唱和する心もんだ声と鳴り物の音が大阪の地に響き渡つた。



名称新たに 喜びの奉告祭

熱き思いにお応えし 拍車をかけた復興を

表時分教会



系統を越えて歴代の会長様たちの思いを受け継ぎ、ただいまより御前に集いました一同、座りづとめ、てをどりを陽気につとめさせていただきます――。

道弘分教会部内だった「道明弘」改め、表時分教会部内としての新たな一步を踏み出した表時分教会(上田時弘会長)の会長就任奉告祭が1月16日、大阪市生野区田島の同教会で執り行われた。

当日は、新型コロナウイルス対策を講じた上で、大教会長様ご夫妻をお迎えし、奉告祭を執行。祭文奏上後の挨拶で、大教会長様は「これから先、この教会のいんねんのある人を一人でも多くお与えいただき、共々に成人の道を歩んでいただくことを切にお願いし、期待している」と話された。

おつとめ後、上田新会長は「低い心で人様に喜んでいただけるように、腹を立てないように、皆さんに満足していただけるように、教祖のひながたを少しでもたどらせていただける教会を目指したい」と決意を表明。芝田榮作・道明弘分教会前会長の代理で出席した芝田善展さんからは、「時弘さんが会長の任を快く受けてくださった事が嬉しく、親神様にお礼を申し上げたい。人だすけに邁進し、表時分教会の理の栄をお見せいただけることをお祈り申し上げる」との思いが伝えられた。